旭山古墳群

－ 現地説明会資料 －

1978・6・3

財団法人　京都市埋蔵文化財研究所

< はじめに >

財団法人 京都市埋蔵文化財研究所は、1978年1月24日から旭山古墳群第II次調査を実施し、昨年確認した18基（造成予定地）の古墳の発掘調査をさらに進めている。

昨年の分布調査によって、40基前後の古墳を確認することができ、従来旭山古墳群・六条山古墳群として別々に把えられていたものが、1つのまとまった古墳群と考えられるようになった。これは古墳が南または東側の斜面に造られており、立地が共通すること、すべての古墳が方形になると考えられること、出土・採集遺物から同一時期の築造になると考えたからである。この古墳群は大別して2つの支群になり、それが5つの支群に分れ、さらに2～3基の単位を

析出することができる。今回報告するのは南端の支群で、方墳7基・小石室3基である。（うち方墳2基・小石室1基については昨年の第I回現地説明会にて報告）。

〈遺構〉

方墳は、2号墳を除く他の古墳の規模が類似しており、6m前後の封土長・約1mの封土高をもち、幅1.1m～1.3m・深さ45cm～80cmの溝が後・左右の3方をめぐっている。内部主体は狭長な無袖式の横穴式石室である。無袖式ではあるが石の積み方により、玄室部と羨道部を意識的に区別したと考えられるものがある。5・7号墳では玄室部は横積み、羨道部は縦積みとなり、3号墳では石を3つ並べて空間を分離していると思われる。

小石室は封土・周溝を持たず割石を1～2段横

積みにして構築している。ただ奥壁が意識されたと考えられ、築造概念は横穴式石室と同様であるらしい。1号小石室では蓋石をもつ甕棺がねかせて埋設してあり、2号小石室には床石が敷き詰められている。なお小石室からは棺としての土師甕以外の遺物は出土していない。

＜ 遺 物 ＞

ほとんどの古墳が盗掘破壊をうけており、原位置をとどめる遺物は少ないが、7号墳だけはほぼ良好な状態で検出できた。玄室部と羨道部の境で須恵器の杯身・蓋が5セット、奥壁沿いに須恵器の高杯・台付長頸壺が出土している。その間を埋めて、木棺に使用された鉄釘が30本出土し、その内、数本は底板を打ちつけるのに使用されたとみられ直立していた。なお釘の

配置から幅60cm・長さ190cmの木棺が復原できる

他の古墳からは、金環、刀子、須恵器の甕・杯身・蓋・高杯・長頸壺，土師器杯が出土している

7号墳出土の杯は、坂田寺・SG100出土のもの（飛鳥・藤原宮発掘調査概報3所収）と同形式と考えられ、7世紀中葉の時期が与えられている。

他の時代の遺物としては、石鏃・石槍・磨製石斧、弥生式土器、平安時代の土師皿・甕、黒色土器、須恵器甕、灰釉壺が出土している。また7号墳の墳丘裾部から鉄滓が検出された。

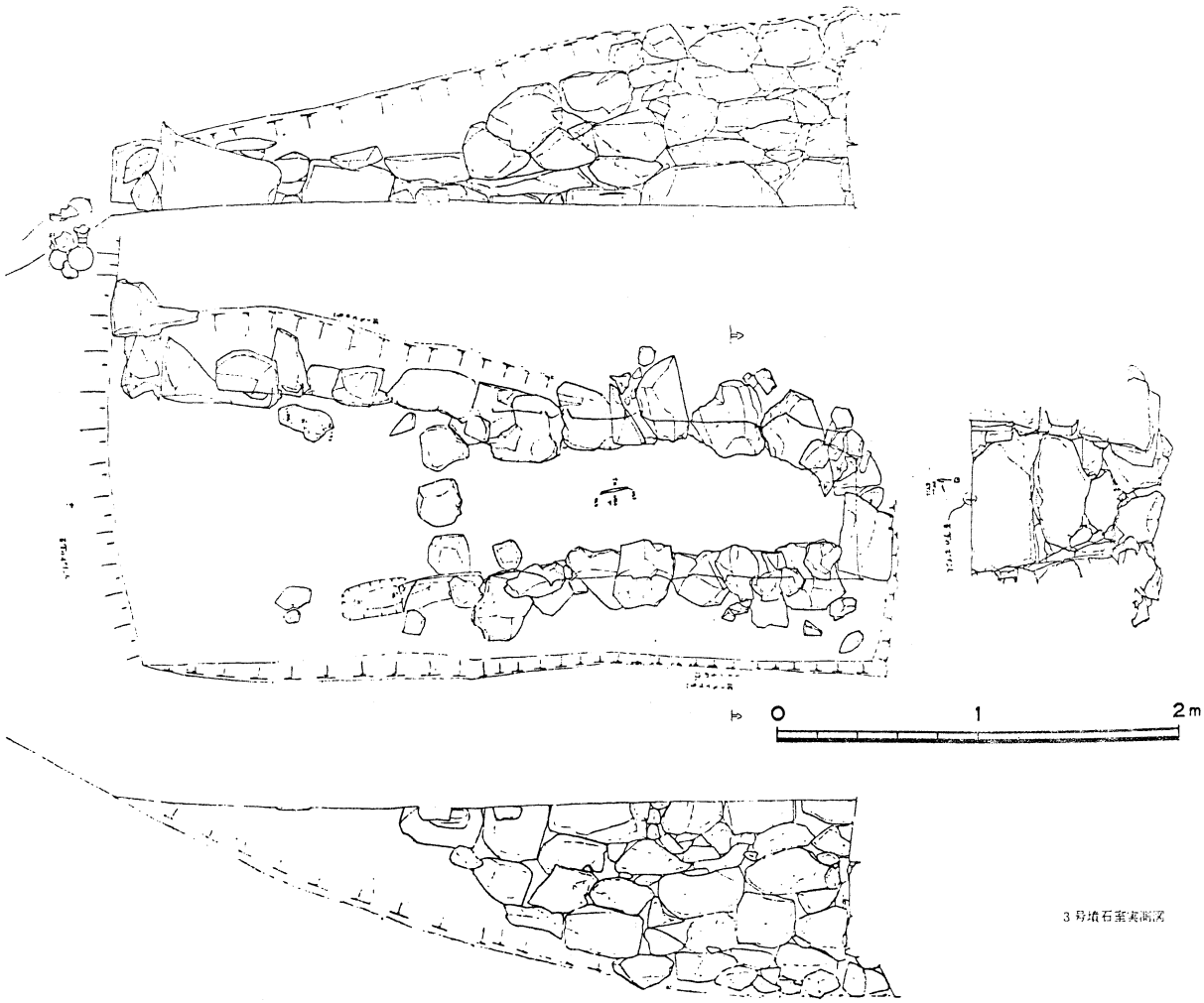
＜考察＞

最後に旭山古墳群の石室について若干述べてみたい。石室のプランは狭長な無袖式であるが、なぜこのようになったのだろうか。それは当初から一棺だけを埋葬する石室として構築されたからだ

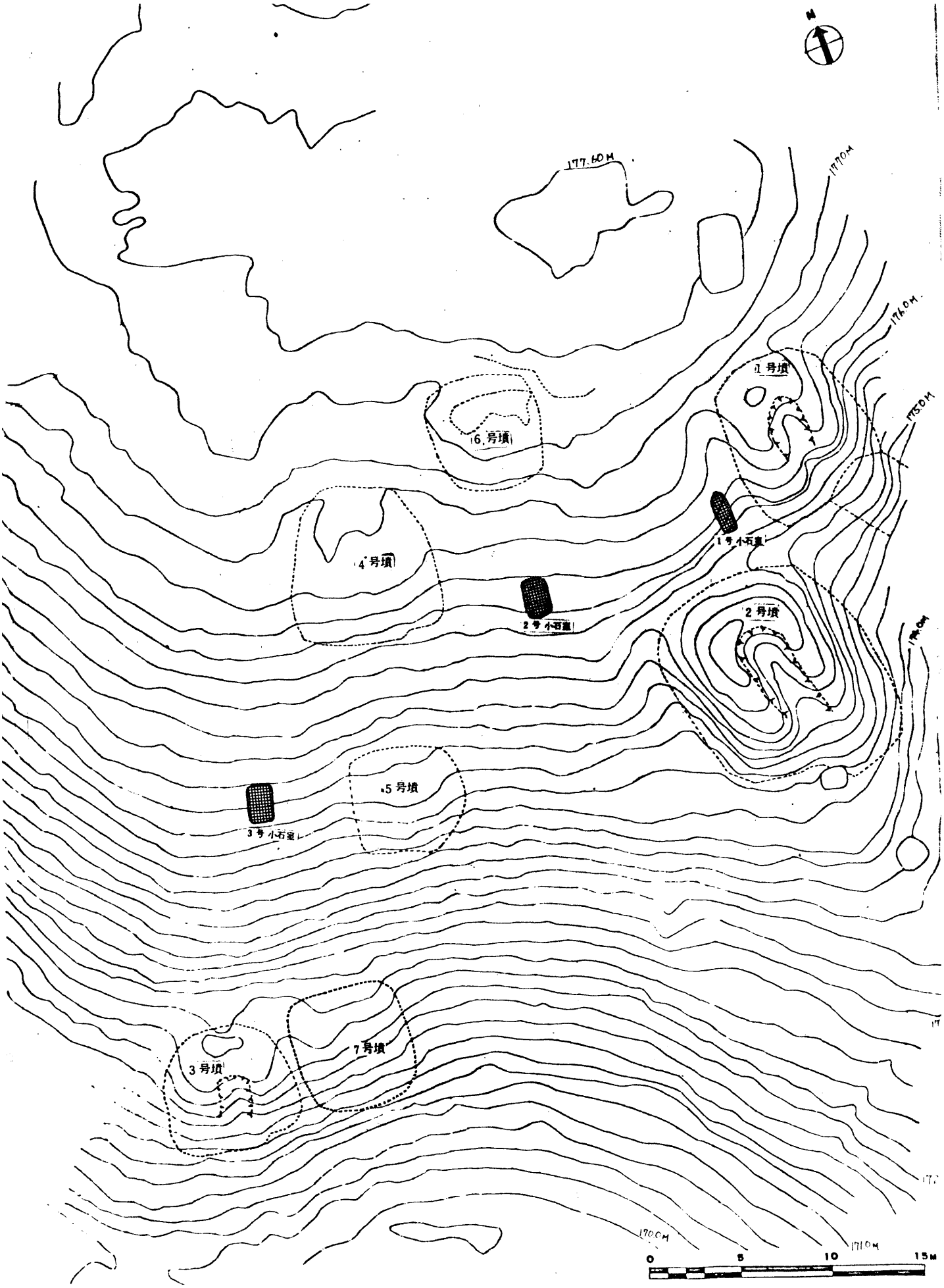
う。棺を1一つは収納できる空間があればよかったのである。もはや追葬ということは考えなくてもよく、必然的に羨道を造る必要もなくなり、痕跡程度に石の積み方を変えたり、石を並べて空間を区切ったにすぎない。また5号墳を除く他の古墳からは、閉塞石になるような石群は検出されていない。玄室と羨道の機能的な区別の必要がなくなって、無袖式の石室が登場したのであろう。ゆえに棺も横から入れたのではなく、上から埋納されたとする方が妥当であろう。築造概念では横穴式石室であるが、埋葬概念では竪穴式石室なのである。これらが、さらに進んだ形態として本古墳群の小石室墳がある。

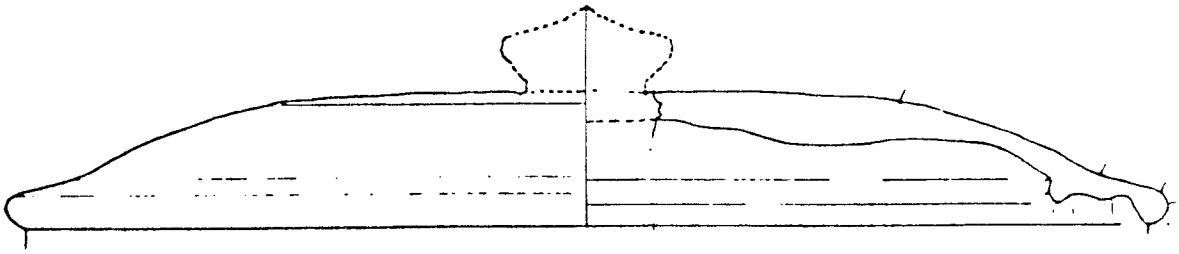
古墳・小石室表

	封土 東西	封土 南北	封土 高さ	周溝 幅	周溝 深さ	玄室 長さ	玄室 幅	羨道 長さ	羨道 幅	出土遺物	備考
1号墳	5.4	6.5	1.3		1.6		0.8			鉄釘・須恵杯	
2	9.4	9.4	2		1.8~2.1	2.35	1.2	3.95	0.87	鉄釘・須恵杯・高杯	
3	6.3	6.5	1.2		1.2	2	0.75	1.6	0.9	刀子・須恵杯・高杯・長頸壺	
4	5.2	7.8	0.86		1.1~1.5	1.7	0.97			鉄釘・須恵杯・長頸壺	石材はすべて持ち去られ、抜取穴から推定
5	6.5	6.6	1.1			2.6	0.7			刀子・金環	床面石が残る
6	5.3	6.3	0.7		1.2	2.9	0.7			須恵高杯	
7	5.3	6.4	1		1.3	2.8	0.8	1	0.7	鉄釘・須恵杯・高杯・長頸壺	
1号小石室						1.2	0.35			土師甕	
2						1.3	0.47			なし	
3						1.6	0.45~0.5			なし	

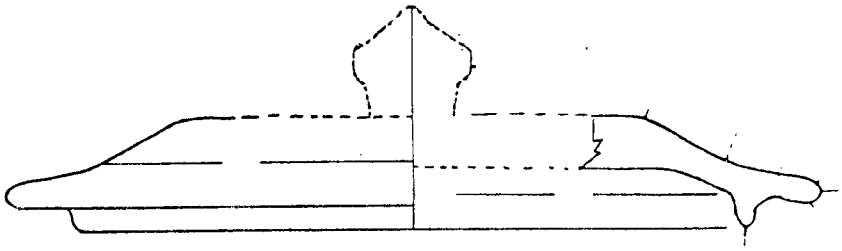


3号墳石室実測図

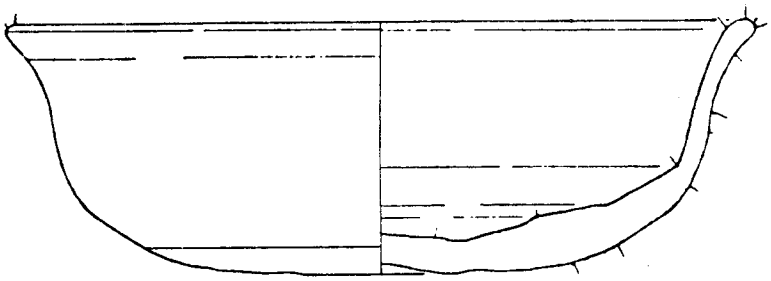

N
177.60M
177.0M
176.0M
175.0M
174.0M
1号墳
2号墳
3号墳
4号墳
5号墳
6号墳
7号墳
1号小石室
2号小石室
3号小石室
170.0M
171.0M
0
5
10
15M



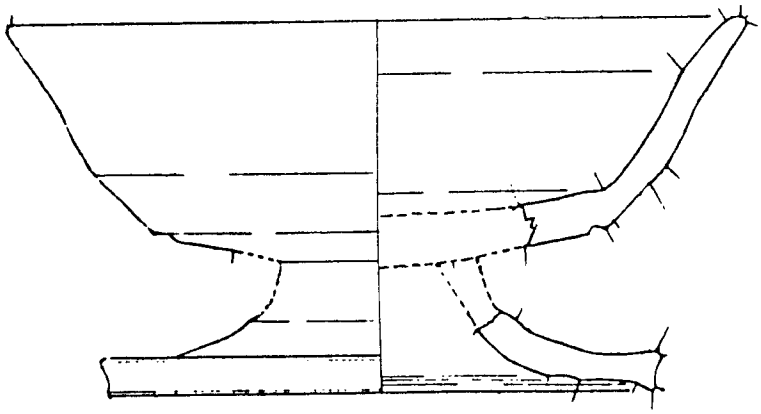
1.



2.



3.

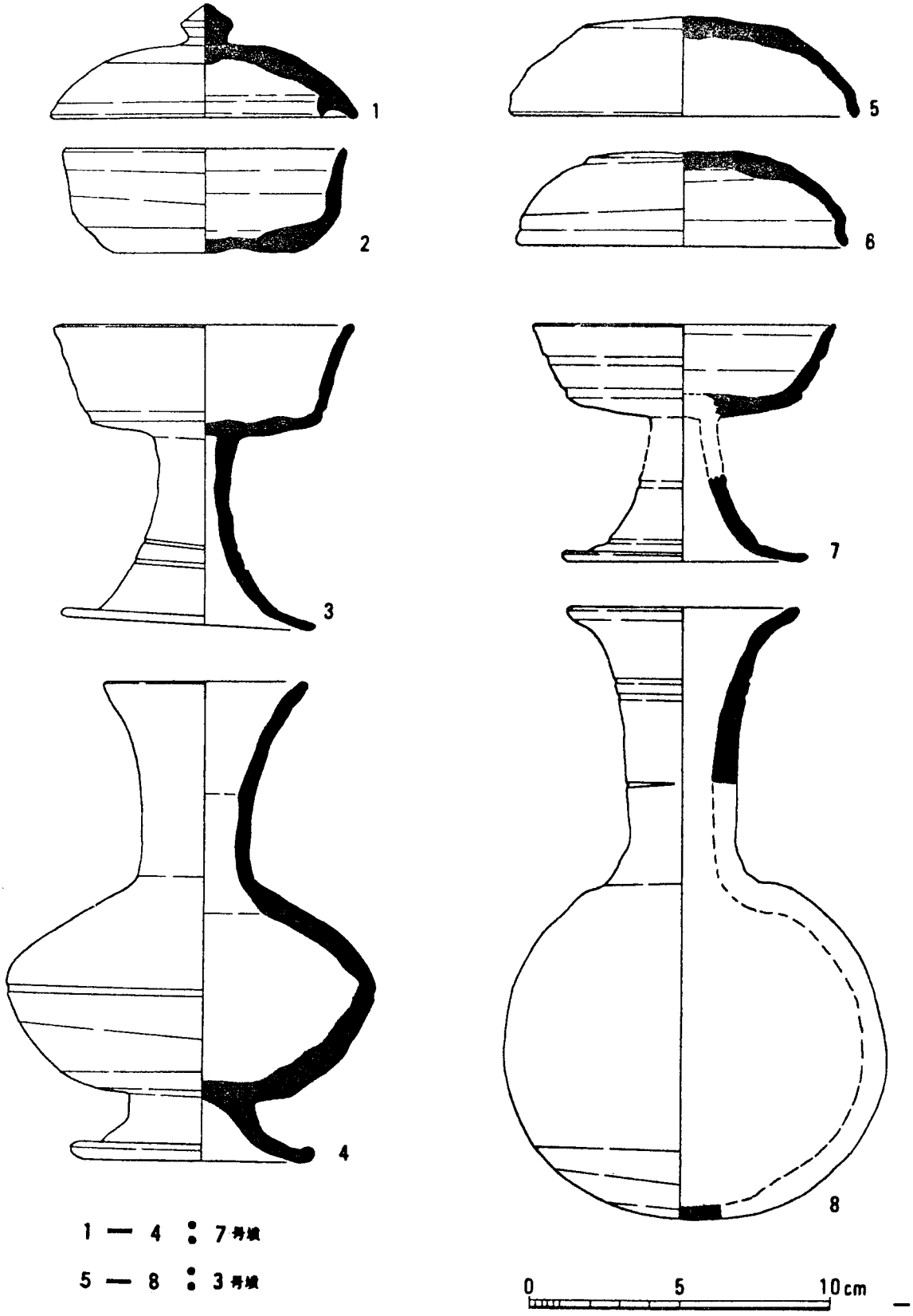


4.

S=1/1

1.2.4　2号墳出土

3　1号墳出土


1
2
3
4
5
6
7
8
1 — 4 : 7号墳
5 — 8 : 3号墳
0
5
10cm